＃未来へつなぐ子育て応援宣言のまち

広報 いずもざき

令和7年 1月号

2025 #.596

■ topics＆information：P2～
・新年のごあいさつ
・地域おこし協力隊　活動報告　ほか

■ 記者は見た：P22～
・小林則幸さん　旭日小綬章受章
・きらり　クリスマスパーティ　ほか

新年のごあいさつ
輝かしい未来に向かって

出雲崎町長
仙海　直樹

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さまおそろいで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

２０２４年を振り返りますと、元日の能登半島地震、翌日の日本航空機と海上保安庁の航空機の衝突事故という波乱の幕開けとなりました。

また、９月には奥能登豪雨が発災し、能登地方においては二重被災された方もおり、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

出雲崎町におきましても、元日には震度５弱の揺れを観測し、津波警報が発表されました。海岸地域では多く方が避難を余儀なくされ、不安の一夜を過ごしました。

改めて避難態勢や避難所運営の実効性を痛感し、災害に対する備えと心構えを肝に銘じ、今後も町民各位の安全安心の確保に努めてまいります。

海外に目を向けますと、昨年はアメリカ大統領選ではトランプ前大統領の返り咲き、韓国の尹（ユン）大統領の非常戒厳令による混乱、シリアのアサド政権の崩壊、未だ止まないロシアによるウクライナ侵攻など、海外情勢も混迷を極めております。

国内では、昨年の漢字ひと文字の「金」に象徴されますように、日本勢はパリ五輪では海外で最多となるメダル45を獲得し、パラリンピックでも前回の東京大会の13個を上回る14個の金メダルを獲得しました。

また、7月27日には佐渡島の金山が世界文化遺産に登録され、大きな歓喜につつまれ、佐渡との繋がりが深い出雲崎町にとっても大きな喜びとなりました。

20年ぶりの新紙幣の発行や、大谷翔平選手の電撃結婚、そして前人未到の54本塁打と59盗塁の「50-50」の達成などもありました。

また、政治とカネの問題に端を発して岸田首相が退陣を表明し、石破首相が誕生。迎えた、衆議院議員選挙では与党が大きく議席を減らしました。

野党の立憲民主党や国民民主党が大きく議席を伸ばす中、年収１０３万円の壁などを巡り議論が行われていますが、少数与党政権のため政治運営が不安定であり、地方自治体にどのような影響を及ぼすか注視をしていかなければなりません。

その様な中で迎えた２０２５年は、町としても限りある財源の中で工夫をしながら、国や県の交付金などを最大限に活用し事業を進めてまいります。

一例を申し上げますと、次の事業の調査・検討を進め、準備ができたものから実行に移してまいります。

・指定津波緊急避難場所の整備（渋川臨海学校跡地を含めた高台の整備）
・天領の里隣接の日本海夕日公園リニューアル化
・町地球温暖化対策実行計画の実行（町施設への太陽光発電導入）
・大学生等への支援策の拡大
・移動手段確保維持のための支援策（タクシー運転手確保対策）
・地域おこし協力隊の募集（将来において地域に根付く隊員募集）
・農林水産業への支援拡充（農業生産法人のスタートアップ支援、漁業者への拡大支援、森林経営管理制度への取り組み）
・ふるさと納税の一層の拡大（地域のプロジェクトから寄附先を選ぶガバメントクラウドファンディングの導入）

私は、昨年多くの町民各位のご支援のもと、町長に就任をさせていただき間もなく1年を迎えます。改めて感謝と御礼を申し上げます。

この間を振り返りますと、以前にも増して感じることは、町民各位の安全安心の確保に対する思いであります。

近年では災害は頻発化し、更に激甚化しており、今後も災害に対する備えを怠ることなく町民各位の安全安心の確保に努めてまいります。

また、昨年は「ふるさと納税で地域の経済を元気にしたい」。そのような思いで若手の職員を中心としたプロジェクトチームを立ち上げました。

プロジェクトチームでは、寄附を行ってくださった方々に手書きのメッセージを添えたり、返礼品の特色やおすすめポイントをふるさと納税サイトに掲載したり、更には、新たな返礼品になりうるものを開拓するために、町内事業者と二人三脚で新商品の開発に取り組んでいます。

その甲斐もあり、現在では過去にない寄附額をいただいております。また、事業者の皆さまも町のために積極的に協力してくださり、町に活気が出てきました。職員も結果が伴うことでモチベーションのアップに繋がっております。

少子高齢化や地域医療、公共交通の衰退や、買い物弱者対策、農林水産業の振興など、課題を挙げればきりがありません。

しかしながら、私には先人の皆さまが守ってこられた出雲崎町を受け継ぎ、次世代にバトンを渡す責任があります。

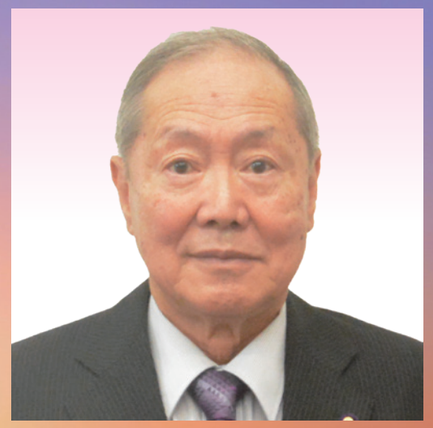
これまで出雲崎町が進めてきました、子育て世帯や、高齢者が住みやすいまちづくりを後退させることなく、まちづくりの基本理念であります「住み続けたい、関わりたい、帰ってきたい　出雲崎」の実現に向けてこれからも邁進してまいります。

２０２５年の干支は乙巳（きのとみ）。古くから巳（み）年は新しい可能性が開ける年と信じられ、発展や飛躍が期待されると言われております。

引き続き、町民各位並びに町議会議員の皆さまのご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年も皆さまにとりまして、輝かしい一年となりますことを祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ

議会の活性化 議員の仕事 やりがいありますよ



出雲崎町議会議長
中野　勝正

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さんには新しい年、期待を持ってお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと内外とも激動の年でありました。

国外では、いまだ戦争が続いている地域があり、胸を痛めております。

国内では、1月1日、石川県能登半島を震源とする大地震がありました。亡くなられた方や被災された方に心からお悔やみやお見舞いを申し上げます。

また、新潟県においても、地域によっては大きな被害にあった方もおられ、国からの復興支援についてさらにスピード感を持って、対応してほしいと思います。

当町においては、2月に仙海直樹新町長が誕生しました。

私ども議会も町執行部と一緒になって汗をかき、両輪で真剣に取り組んでいきます。

昨年の当町議会活動報告の一部は2月配布の議会だよりに掲載されますので、ご覧ください。

当町の議会についてお話をします。

当町議員は年4回ある一般質問において、毎回議員は異なりますが、半数以上の議員が、町長に対して町民の代弁者として自分の考えを投げかけながら、町の活性化に努めております。

また、地方議会議員のなり手不足の要因として、全国町村議会議長会、県町村議会議長会から、議員報酬の適正化が指摘されており、各町村議会では内容を審議しております。当町議会も現在審議中です。

現在、町議員10名で、当選回数　1期生4名、3期生2名、4期生2名、5期生1名、6期生1名です。

年齢層では、30歳代1名、40歳代2名、60歳代1名、70歳代6名です。

男女別では、男性7名、女性3名です。

今年5月に町の大事な町議会議員の選挙があります。選挙があってこそ、町の活性化に結びつくと私は考えます。

年齢にとらわれず、町をよくしたい、地域がよくなるために汗をかいてみたいという志のある方から、ぜひ立候補していただきたいと思っております。

結びに、本年も引き続き、議会にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、町民の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「子は宝」多世代交流館

きらり

～みんな寄らんば
みんなのきらり～

〒949－4342　町内大字米田395番地
☎0258-86-5580　FAX0258-86-6466
開館時間　平日　8:30～17:15
休日10:00～15:30

きらり公式
ウェブサイトにも
遊びに来てね☆

今月の予定

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1月12日	13	14	15 よらん場 10:00～12:00	16 ベビーマッサージ 10:00～11:00	17 よらん場 10:00～12:00	18
19	20 ヨガ・ストレッチ 10:00～11:30	21 いるか教室	22	23 よらん場 10:00～12:00	24	25
26	27 ちょいトレ教室 10:00～11:30	28	29 おとな園 10:00～11:30	30 よらん場 10:00～12:00	31 みんなの保健室	2月1日
2	3 ヨガ・ストレッチ 10:00～11:30	4	5 きらりhand 10:00～11:00	6	7 よらん場 10:00～12:00	8

きらり公式SNS !!
みんなチェックしてね♪

Facebook　Instagram　X (旧Twitter)　YouTube　LINE

きらり写真館

とても素敵なプレゼントが届きました！
この青い飾りですが…、なんと、ボカリスエットのペットボトルのラベルで作られた千羽鶴です♪
折り紙とは違い、どことなく素材のためか、キラキラして見えるので、ぜひ見に来てくださいね☆

パパと遊びに来た男の子。おままごとスペースで、お店のカーテンを開けたり閉めたり。パパも同じ目線で我が子の反応やテンポに合わせて「いない いない ばあっ！」と、時には表情を変えて遊んでいました(*^^*)

☆みなさまのお越しをお待ちしております☆

「本と人と町をつなぐ場所」

地域おこし協力隊 石坂 優 さん

令和２年７月から地域おこし協力隊としてさまざまな活動を行ってきた石坂優さんは、令和７年１月をもって退任することとなりました。協力隊としての４年半の活動を教えていただきました。

地域おこし協力隊としての活動

私の地域おこし協力隊としてのミッションは「関係人口の増加」でした。初年度は、イベントや小・中学校の授業、展示会やイベントの企画などの様々な活動を行ってきました。「蔵と書」をオープンしてからは、「本屋のない町に本を。」をコンセプトに、古本の販売や本の貸し出しや展示などを行い、多くの方に来ていただきました。お客さんの中には、「優さんに会いたくて2時間かけて来た」「蔵と書を見たくて、北海道から来た」というように、県内だけでなく県外からもたくさんの方に来ていただき、「蔵と書」を通して出雲崎を知ってもらえたと思います。また、町内の方と県外の方が同時にいらしていたときに、その方々が仲良くなったり、様々なお話をされていたのを見て、「蔵と書」は、本と人、本と町だけでなく、人と人をつなぐ架け橋になれたと思います。最終的には、約4，000人の方から「蔵と書」に来ていただきました。「蔵と書」は12月で閉店しましたが、多くの方の記憶に残る場所にできたと思います。「蔵と書」という場所自体はなくなってしまっても、4年間の中で来ていただいた方の心の中には「蔵と書」も出雲崎を訪れた記憶や経験も残ります。これからは、「蔵と書」を訪れてくれていた方々が別の目的で出雲崎を楽しんでくれたらいいなと願っています。

町での思い出

初めて、出雲崎に来たときは、コロナ禍で知り合いもいなかったり、車の運転もできず不安でいっぱいでしたが、町民の皆さんにあたたかく迎えていただき、助けていただきました。

縁のなかった出雲崎で4年半過ごせたのは町民の方を含め、たくさんの方とつながりがあったからです。本当に感謝しています。出雲崎は、私にとって、大阪、名古屋に次ぐ第3の故郷です。

趣味のマラソンでは、多くの方に応援していただきました。いずもざきマラソンでは、2年連続ゲストランナーとして走り、「石坂さん頑張れ」というあたたかい声に後押しされ走り切ることができました。また、町外のマラソン大会まで応援に来ていただいた方もいました。そのおかげもあり、4年半で23のマラソン大会を完走することができました。

これからについて

タイミング的にも今しかできないことに挑戦するため、「今死んだら後悔すること」でもある海外へNO．1長期滞在します。住みながら言語を学んだり仕事をしたりする予定です。また更なる異文化との出会いとなりますが、出雲崎で過ごした日々の中での学びや経験を活かし、向こうでも精一杯がんばります。

石坂さんからのメッセージ

皆さま、まずは5年近くの間、大変お世話になりました。「蔵と書」を閉めてから自身の引っ越し、次の挑戦への期限などが目白押しで私自身にまったく余裕がなく、しっかりとご挨拶をできなかった方もたくさんいらっしゃいます。本当は一人一人にお会いしてしっかりとご挨拶したかったのですが、この場を借りてのご挨拶になってしまい大変恐縮です。どうかご理解いただければと思います。

本当にまったく縁もゆかりもなかった土地に一人で飛び込んだ私が、今日まで楽しく過ごしてこられたのは、間違いなく皆さまの支えがあったからです。直接お声がけいただいた方も、そっと陰で見守ってくださった方も、心を寄せてくださった方も、本当にありがとうございました。もちろん壁にぶつかったり辛いこともありましたが、たくさんの方に支えられてもともとの任期の3年よりも長く(コロナ禍の特例措置により)活動させていただくことができました。町の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

私が0から創った「蔵と書」も、町内外問わずたくさんの方に愛していただけました。出雲崎での経験を糧に、次の挑戦もがんばりたいです！帰国した暁にはまた出雲崎にも来ます。さよならではなく、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「まちのよろず屋になる」

地域おこし協力隊 北谷　美穂 さん

令和５年12月から地域おこし協力隊としてさまざまな活動を行ってきた北谷美穂さん。1年間協力隊として行ってきたこと、今後行っていきたいことなどを聞きました。

地域おこし協力隊としての活動

私の地域おこし協力隊としてのミッションは「まちのよろず屋になる」です。町の人口減少・高齢化に伴い、行政職員数が減って攻めの業務に手を付けられなかったり、地域でできないことが増えてきたりします。そんな「できたらいいけど、なかなかできない」ことに、行政・地域と連携しながら取り組む仕組みづくりをし、出雲崎がこれからも持続できる状態を目指すのが最終的なゴールです。

1年目はふるさと納税と子育て家族向けの情報発信をメインに行いました。

ふるさと納税では、寄附受付業務（書類準備・発送等）などの事務作業から、納税サイトの返礼品更新、事業者との連絡等、日々の細かい仕事を行いました。加えて、6月からは寄附者全員に手書きのメッセージの記入を始めたほか、お礼状のデザイン変更、特集記事の作成などを行い、単なる寄附額増加だけではなく、ふるさと納税を通して出雲崎ファンをつくる取り組みを試しました。

子育て家族向けの情報発信では、「子どもと出雲崎」というInstagramを設立し、子育て世代が欲しい情報を切り口に町内施設やイベントについて投稿してきました。「子育て応援宣言のまち」として、町の支援だけでなく、町内全体に「子ども連れに優しい」雰囲気が広まってほしい、情報があることで、出雲崎を目的地の選択肢にしてほしい、という思いで行っています。さらには、そこから移住につながれば嬉しいです。

どちらも「なくても何とかなるけど、あったらいい」そんな小さな取り組みです。すぐに目に見える結果にはつながらないことも多いですが、今後もこういった「あったらいいな」を少しずつ実現していきたいと思います。

大変だったこと 苦労したこと

1年目に取り組んだ内容的に役場庁舎で仕事をすることも多く、「地域おこし協力隊」としてより「役場の人」と見られてしまいがちなのが悔しいところです。それを改善するために新津邸での活動などを試してきました。私は決して役場の仕事をするためだけに地域おこし協力隊になったのではなく、むしろ「役場ができない仕事を役場と住民の間で行いたい」と考えています。そのため「役場の北谷」よりは「地域おこし協力隊の北谷」と認識してもらえると嬉しいです。

これからについて

「まちのよろず屋になる」というゴールのために、2年目は新たに空き家・移住関係をメインに取り組む予定です。

町の移住定住サイト「GOOD LIFE IZUMOZAKI」の空き家バンクの情報・物件を充実させるほか、移住希望者の相談や現地案内を行い、出雲崎での暮らしがイメージできるサービスを行いたいです。

また、もう一つ挑戦したいのが、フィルムコミッション（映画やCM等の撮影誘致・サポート等を行う）です。私が出雲崎町に抱いた第一印象が「映画やドラマにあるような夏が存在するまち」でしたので、出雲崎のそういった可能性をもっと活かしていきたいです。

今でも出雲崎に関わっています！

元・地域おこし協力隊　坂東　拓哉 さん

皆さん、お久しぶりです。元・地域おこし協力隊の坂東です。

現在は、長岡に住んでおり、出雲崎には、バレーボールクラブ「ブラザーズ」の練習のときにお邪魔しています。現在も出雲崎に関わることができ、とても嬉しいです。出雲崎で今年行ったこと、来年計画していることを紹介します。

1　良寛記念館の映像作成

良寛記念館のナレーション映像（15分程度）の作成を行いました。

4～9月の半年かけて、ナレーションの声撮りから動画の編集までを行い、良寛記念館長や町職員と相談しながら作業を進めました。良寛さんは生まれは出雲崎ですが、さまざまな場所を訪れていたため、映像の素材集めのために、柳津や分水、和島等を訪れたりもしました。良寛さんを多くの皆さんに知ってもらえるように作成しましたので、ぜひ、良寛記念館に訪れてみてください。

2　出雲崎の輝きを使用した日本酒の作成

私は、現在長岡にある「恩田酒造」で働いています。

出雲崎には、江戸、明治と酒蔵が数箇所あったと聞いています。しかし、今は酒蔵がありません。もったいないと思い、町と協力し、出雲崎のお米「出雲崎の輝き」を使用した日本酒を恩田酒造で造ろうと計画しています。出雲崎町の”お酒”の復活に向けて、頑張ります。

第19回 出雲崎の四季 フォトコンテスト

問 出雲崎町観光協会事務局（☎0258-78-2291）

出雲崎の自然・歴史・人が織りなす四季などをテーマに毎年開催している「第19回出雲崎の四季フォトコンテスト」。10月28日(月)に中央公民館で審査会が行われました。審査委員長である写真家の山田昌男先生をはじめ、審査委員による厳正な審査の結果、受賞作品が決定しました。（敬称略・審査委員長講評を掲載）

最優秀賞「春風の誘惑」 吉岡 義和（長岡市）

春めいた出雲崎海岸に、女性二人が楽しく遊ぶ夕景とシンボルの架け橋のシルエットが春の季節感を表現しています。海面に写り込んだ影が構図を引き締めて、作者の技術を評価しました。

優秀賞・インスタ部門「ハレノヒ」

岩本 功貢（長岡市）

優秀賞・夏「花火に魅せられて」

池田 勝晃（長岡市）

良寛と夕日の丘公園から人物と良寛様を入れた構図、シルエットにして花火を強調した撮影は見事です。出雲崎町の花火撮影の絶景ポイントになりますね。

優秀賞・春 「大漁船のお帰り」

伊藤 昇（三条市）

春の空気感を感じさせる風景、出雲崎を象徴する漁港風景、手前の桜をボカし船と赤い灯台をハッキリ出した撮影で奥行きの有る風景が素晴らしいです。

優秀賞・冬「無病息災を願う」

太田 裕一（新発田市）

伝統と歴史の有る飴獅子、大勢のカメラマンが撮影する被写体、その中で主題を中心に上手に撮影した作品、獅子に一礼する様子が心うたれます。

優秀賞・秋 「今年の出来は良」

上杉 正春（新潟市）

黄金色に輝く田んぼ豊作を願う生産者、秋の風景です。越後線を入れて撮影する事で、情景描写が鮮明になっています。

入選者一覧

最優秀賞・優秀賞作品のほか、次の方々の作品が入選しました。（敬称略・順不同）

栗山 泰一郎（長岡市）	渡邉 隆（新潟市）
佐藤 英朗（新潟市）	大木 久（新潟市）
杉田 義男（出雲崎町）	本多 徹（燕市）
中村 弥（新潟市）	栗田 晋一（燕市）
明道 進二（燕市）	山田 幸三（燕市）
佐藤 吉晴（魚沼市）	

【総評】山田昌男 審査委員長

今年も素晴らしい出雲崎町の四季折々の作品の審査をさせて頂きました。

毎回発見が有り、緊張感と期待の中、各賞を観光協会小林会長と決定いたしました。

自然豊かな、そして写真の被写体に事欠かない出雲崎。生活や街並風景、海水浴場、祭りなど撮影して下さい。各自のフォトアイで再発見を期待しています。

令和6年農地賃借料情報

問 町農業委員会事務局（☎0258-78-3114）

農業委員会では、農地法第52条に基づき令和６年農地賃借料の参考情報を公表しています。

この金額は、令和６年１月から令和６年12月までに締結（公告）された賃貸借（金納取引）における賃借料水準（10ａ当たり）です。

これは賃借料決定の参考として提供するものです。実際の契約では、当事者同士でよく協議し決定してください。

基盤整備	平均額	最高額	最低額	データ数
整備地域	8,300 円 （10,300 円）	10,000 円 （16,400 円）	7,000 円 （6,000 円）	66
未整備地域	5,500 円 （6,700 円）	8,000 円 （10,900 円）	1,500 円 （2,000 円）	38

（10ａ当たり）

※１.データ数は、集計に用いた筆数です。
※２.金額は、算出結果を四捨五入し、100円単位としています。
※３.(　　)内は令和５年データの公表金額です。
※４.物納取引の賃料換算については、銘柄間の価格差やこの度のＪＡ仮渡金の高騰など、米価の情勢により大きく変動するため、今回の集計からは除外しています。

国民年金の付加年金制度をご活用ください

問 町民課 町民係（☎0258-78-2294）
長岡年金事務所（☎0258-88-0006）

年金担当者からのお知らせ

付加年金制度は、国民年金の第１号被保険者の方などが毎月の保険料に上乗せして月額400円の付加保険料を納付することで、将来受け取る老齢基礎年金額を増やすことができる制度です。

加入できる方

・国民年金第1号被保険者（自営業者、学生など）
・65歳未満の任意加入被保険者
※納付免除・猶予を受けている方、国民年金基金の加入員である方は加入できません。

加入方法

役場町民課窓口または長岡年金事務所で手続きできます。手続きには次のものが必要です。
・本人確認書類
・個人番号または基礎年金番号が分かるもの

付加保険料

・１か月当たり400円

付加年金額

・老齢基礎年金（年額）に「200円×付加保険料を納めた月数」を上乗せして受け取れます。

例：付加保険料を１年間納めた場合、将来受け取る年金に2,400円が上乗せされます。２年で元が取れ、３年目からはプラスになります。

令和7年度放課後児童クラブ入会申請を受け付けています

問 教育課 社会教育係（☎0258-78-2250）

入会要件

・就労などにより、昼間保護者のいない小学校１～６年生の児童（定員30名程度）
※入会希望者が受入可能人数を上回る場合は選考となります。

開所日時

・毎週月～金曜日：下校時間～午後６時
・長期休暇、学校休業日、第１・３・５土曜日：午前８時～午後６時
※ただし、日曜・祝日・８月13～16日、12月29日～１月３日を除く

延長時間

・午後６時～午後７時

場所

・出雲崎小学校体育館内

申込方法

「児童クラブ入会申請書」に必要事項を記入し、入会要件を証明する書類を添付して、２月３日(月)までに教育課社会教育係または放課後児童クラブへ提出してください。
※詳しくは町公式ウェブサイトをご覧ください。

いずもざき健康レシピ

バランス良く食べて、町民のみなさんが健康な生活を送れるように、町の食生活改善推進員が地元食材を使ったレシピを紹介します。

大根餃子

調理：町食生活改善推進員

1人分 エネルギー約200kcal /食塩相当量約0.7g

材料（４人分）

・大根…300～350g
・塩…小さじ1
・豚ひき肉…150g
・玉ねぎ…100g
・キャベツ…70g
・卵…1個
・ニラ…40g
・ごま油…大さじ1と1/2
・塩コショウ…少々
・片栗粉…適宜

作り方

①大根は皮を剥き、薄く輪切りにして、塩を振ってしんなりさせる。
②玉ねぎ、キャベツ、ニラをみじん切りにし、卵、豚ひき肉と合わせ、ごま油、塩コショウを加えてよく混ぜる。
③①の大根の水気を切り、②の餡をのせる。大根の内側のふちに片栗粉をつけて半分に合わせ、蒸し器で10分くらい蒸す（フライパンで蒸し焼きにしても良い）。
④ポン酢などお好みのタレをつけて食べる。

ポイント
なるべく太めの大根を用意すると餡を包みやすくなります。通常の餃子よりもヘルシーです。

令和６年分確定申告

確定申告の予約を開始します

問 町民課 税務係（☎0258-78-2292）

申告相談には事前予約が必要です

町民税・県民税、所得税の申告相談の受付には事前予約が必要です。予約方法などをご確認の上、「期日・時間」を必ず予約して、ご来庁ください。

申告相談会場

・出雲崎町役場　町民課税務係窓口

申告期間

・２月17日㈪～３月17日㈪

※休日受付日：３月２日㈰【休日受付も予約制です】

予約方法

①予約受付開始　令和７年２月３日㈪から

②予約受付時間　午前９時00分～午後４時00分まで（平日のみ）

③予約方法　電話で予約してください。【町民課税務係（☎0258-78-2292）直通】

・予約の際は、ご希望の期日と予約時間をお伝えください。

※先着順ですので希望日時に添えない場合もあります。

④申告予約時間　次の予約時間から選んでください。

【午前の部】８時40分、９時30分、10時20分、11時10分

【午後の部】１時00分、１時50分、２時40分、３時30分

⑤予約の確定　電話予約の際に、予約決定日時をお伝えします。

※予約した日時に来庁できない場合、再度予約が必要となりますのでご注意ください。

利用者識別番号をご確認ください

町の窓口で所得税の確定申告をする場合、確定申告書を税務署へ電子送信するため、【利用者識別番号】という16桁の番号が必要になります。なお、【利用者識別番号】をお持ちでない方が窓口で申告をされる場合には、職員がその場で取得をお手伝いします。

町で受付のできない申告

次の申告は、長岡税務署での受付となります。町では受付できませんのでご注意ください。

- 青色申告の方
- 繰越損失がある方
- 住宅借入金控除を初めて受ける方
- 昨年度以前の確定申告
- 譲渡所得がある方
- 退職所得がある方
- 雑損控除、雑損繰越がある方
- 亡くなった人の確定申告

※長岡税務署での受付方法は、左ページをご覧ください。

税務署からのお知らせ

書かない確定申告 マイナンバーカードでe-Tax

すでに約70%の方がe-Taxで申告しています!!

申告書の作成は、国税庁HP「確定申告書等作成コーナー」から、マイナンバーカードを読み取り、マイナポータルアプリと連携することで、給与・年金等の収入のほか、医療費控除やふるさと納税等の寄附金控除の申告に必要な情報を取得し、一括入力されるので、時間がかからず簡単に作成できます。また、医療費の領収書やふるさと納税の受領証明書などの収集・保管・入力が不要となり大変便利です！ぜひマイナポータル連携を使ったe－Taxをご利用ください。

※　給与情報と連携するには、源泉徴収票がe－Taxで提出されている必要があります。

確定申告書等作成コーナーなら
金額等を入力するだけで
自動計算で申告書が完成！

作成コーナーの詳細はこちら

マイナポータル連携で
控除証明書等のデータが
自動入力できる！
※ご利用には事前準備が必要です

マイナポータル連携の詳細はこちら

➢ 税務署への来署をご検討の方へ

令和７年１月６日（月）から２月14日（金）までは、**事前に予約のある方のみの対応**となります。

この期間に所得税・個人消費税・贈与税での申告相談に事前予約なくお越しいただいても、当日は対応できませんのでご注意ください。

申告相談を希望される方は、**令和７年２月17日（月）から３月17日（月）まで**の確定申告期間中に**LINEによる入場整理券のオンライン事前発行**を受けた上で確定申告会場へお越しください。

➢ 書面による申告書等をご提出される方へ

令和７年１月以降、確定申告書等の控えに収受日付印の押なつを行わないこととしました。申告書等の提出年月日は、必要に応じて、ご自身で記録・管理をお願いします。

※　e－Taxを利用すると、申告書等データの送信後にメッセージボックスから送信日や申告内容を確認することができます。ぜひご利用ください。

また、確定申告会場では、ご自宅で作成された申告書の検算（金額の確認など）や書面による申告書の作成はしていませんので、e－Tax又は郵送等での提出をお願いします。

申告に困ったときは

▶ **動画で見る確定申告**
確定申告書等作成コーナーの操作方法などを動画でご案内

▶ **チャットボット「ふたば」**
ご質問したいことをメニューから選択するか、入力いただくと「税務職員ふたば」(AI)が回答

出雲崎美食味めぐり～冬の陣～開催！

問 出雲崎美食街めぐり実行委員会（☎0258-78-2291）

出雲崎町 IZUMOZAKI

出雲崎美食味めぐり 冬の陣

出雲崎漁港を舞台に冬の荒海日本海を感じながら、旬の食材を使った各店舗オリジナル料理が一堂に会してお酒や出雲崎のブランド米などと一緒に楽しんでいただくイベントです。

日時 令和7年 **3月1日(土)** 13:00-15:30（受付13:00～13:30）

会場 **出雲崎漁港荷捌所**

参加費 お1人様 3,000円　定員 150名（各コース30名）

一次〆切 2月18日(火)（応募多数の場合抽選）
最終〆切 2月25日(火)（定員に空きがある場合）

参加飲食店とお料理の紹介（うち、3つのお料理を選べます）

町内飲食店ブース

A レストラン陣や

B 麺処 いずも屋

C ダイニングレストラン DIO

D お食事処 夕日庵

E 大衆割烹 味彩

コース

ご応募の際、下記コースより希望コースをお選びください。

- ①良寛コース A+B+C
- ②芭蕉コース B+C+D
- ③潮騒コース C+D+E
- ④夕凪コース D+E+A
- ⑤荒磯コース E+A+B

その他特典盛りだくさん！

鏡開き2斗ふるまい酒
参加者全員受付終了後、鏡開きを行い、日本酒を振舞います（1人お銚子1本、おかわりあり）。冷でもよし、会場のストーブで燗するもよし。参加者で2斗飲み干してください！
※なくなり次第終了

さざえつぼ焼き体験コーナー
さざえのつぼ焼きを作ってみよう！

大鍋まかない
新潟漁業協同組合出雲崎支所水産研究会が出雲崎産の旬の食材を使用した大鍋を振る舞います。

ソフトドリンクコーナー
ソフトドリンクを無料で提供します。
※なくなり次第終了

アルコール引換券
お好きなアルコールと交換できるチケットを2枚進呈します（ハンドルキーパー除きます）。

特設販売コーナー
特設ブースにて特産品等を販売します。

出雲崎の輝き試食
ガス釜炊きの出雲崎のブランド米「出雲崎の輝き」をぜひご試食ください。※なくなり次第終了

ハンドルキーパー特典
ハンドルキーパーには、アルコール引換券の代わりに天領の里で使える500円商品券を進呈します。

ビンゴゲーム大会
出雲崎の特産品が当たるビンゴゲーム大会を開催します。

申込方法

代表者の氏名、住所、電話番号、希望コース（第1～第3希望）、代表者を含んだ参加人数、シャトルバス利用者数、ハンドルキーパー数を記載のうえ、事務局へご持参、郵送（必着）、FAX又はメールにて2月18日（火）までにお申し込みください。QRコードの申込フォームからもお申し込みいただけます。（電話は不可）

応募多数の場合は抽選とし、抽選結果は、観光協会ホームページへの掲載（令和7年2月19日以降掲載予定）にて、また当選通知の郵送をもって発表とさせていただきます。

お申し込み数が定員に達しない場合、2月25日（火）まで（郵送の場合、必着）先着順で、お受け付けいたします。（電話は不可）

お申込用QRコード

参加概要

①参加確定グループの代表者には、当選通知を郵送します。
②当日会場内受付にて、参加費をお支払いください（おつりのないようお願いします）。
③受付にてドリンク引換券（2枚）又はハンドルキーパー特典、料理引換券（3枚）、ビンゴカード、大鍋まかない券、さざえ引換券、アンケート等をお受け取りください。
④アルコールは、アルコールコーナーにてチケットと引き換えてください。追加は、現金にてお願いいたします。
⑤鏡開きふるまい酒、ソフトドリンクコーナー、出雲崎の輝き試食は、なくなり次第終了となります。
⑥ストーブはありますが、ご自身でも防寒対策をしっかり行ってお越しください。

その他

出雲崎動画放映
ふるさとCM、きらり動画等を会場で放映します。

出雲崎おけさ披露
日本遺産の構成文化財に認定されている出雲崎の郷土芸能「出雲崎おけさ」を生演奏します。

シャトルバス運行

出雲崎駅⇔会場（出雲崎漁港）までの間、シャトルバスを運行します。

行き	出雲崎駅（発）	漁港（着）	
1 便	12：45	12：55	
2 便	13：06	13：15	
帰り	漁港（発）	出雲崎駅（着）	脇野町バス停
1 便	15：45	15：55	―
2 便	15：55	16：05	16：20

〈参考〉
時刻表（行き）出雲崎駅着
新潟方面　（電車）新潟駅11時20分→13時05分着
柏崎方面　（電車）柏崎駅12時11分→12時44分着
長岡方面　（バス）長岡駅11時55分→12時40分着

時刻表（帰り）出雲崎駅発
新潟方面　（電車）16時03分発→1便
柏崎方面　（電車）16時21分発→2便
長岡方面　（バス）16時24分 脇野町バス停発→2便

運行障害発生により遅延、運休することがありますので、あらかじめご了承ください。

詳しくは出雲崎町観光協会 HP をご覧ください。
https://www.izumozaki.net/

お問い合わせ
出雲崎美食街めぐり実行委員会
（事務局：出雲崎町産業観光課内）
TEL:0258-78-2291　FAX:0258-41-7322
MAIL:shokou@town.izumozaki.niigata.jp
主催：出雲崎美食街めぐり実行委員会（出雲崎町、出雲崎町観光協会）
協力：新潟漁業協同組合出雲崎支所水産研究会

町民限定！特別先行予約を受け付けます

申込方法
・上記チラシの申込方法と同じです。

定員
・各コース15名（お連れの方は町民でなくても予約可能です）

申込期限
・令和７年１月24日㈮　17時まで（必着）
※応募多数の場合は抽選とし、当選された方には当選通知書を送付します。

抽選に漏れた場合
・当選されなかった方につきましては、一般応募として自動的に受付させていただきます。

司法書士による相続登記の無料相談月間のお知らせ

問 新潟県司法書士会（☎025-244-5121）

新潟県司法書士会では、毎年２月の１か月間を「相続登記はお済みですか月間」と定め、相続登記について県内各司法書士事務所にて無料相談を実施しております。

令和６年４月１日に相続登記が義務化になりました。この機会にお近くの司法書士事務所にお気軽にご相談ください。

日時

・令和７年２月１日㈯～２月28日㈮　各事務所執務時間内

場所

・県内各司法書士事務所

その他

・執務時間につきましては各司法書士事務所にお問い合わせください

また、一年通じて下記にて無料相談に応じますので、ご利用ください。

〇司法書士無料相談
毎週水曜日 13:30～16:00
TEL：025-244-5121（面談・電話相談　要予約）
〇司法書士会総合相談センター
平日 10:00～12:00・13:00～16:00
TEL：025-240-7867（電話相談）
〇多重債務ホットライン
平日 10:00～12:00・13:00～16:00
TEL：025-240-7974（電話相談）

会計年度任用職員を募集します

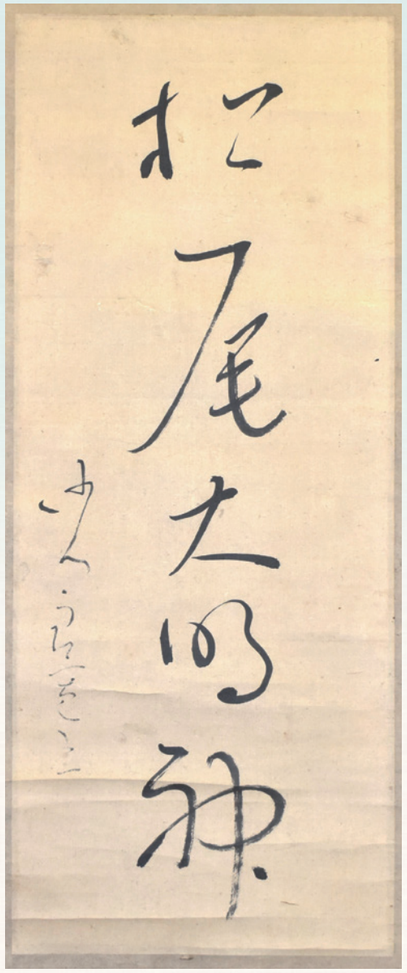
問 教育課 社会教育係（☎0258-78-2250）

職種 勤務場所	任用期間	人数	賃金	勤務日数・勤務時間	主な業務内容
放課後児童支援員 ※指定する資格等が必要です	R7.2.10～R7.3.31 ※継続の可能性有	若干名	時給 1,030円	【勤務時間】 平日：13:00～19:00の間の4時間程度（週5日） 長期休暇等：9:00～17:30の8.5時間 （休憩1時間を含む）	・児童の遊び、学習、生活習慣の支援 ・出席簿や日誌記録簿の事務
放課後児童支援員補助		若干名	時給 1,023円	【勤務時間】 平日：15:00～18:00の3時間（週1～3日） 長期休暇等：8:30～17:00の8.5時間 （休憩1時間を含む）	・児童の遊び、学習、生活習慣の支援 ・児童支援員の補助
出雲崎小学校児童クラブ室	受付期限：1月20日㈪必着　選考方法：面接によって決定します。 ※詳細は町公式ウェブサイトまたはハローワーク求人情報をご覧ください。				

良寛をたどる。

このコーナーでは、良寛記念館に所蔵されている良寛に関する作品をご紹介します。

良寛遺墨神号「松尾大明神」



原文

松尾大明神
沙門良寛書

解説

当良寛遺墨神号『松尾大明神』は、日本初の良寛研究家と云われ良寛堂と良寛記念館を建立した佐藤耐雪翁のご息女である佐藤九瓊（クニ）氏より、ご寄贈いただいたものである。昨年夏、九瓊氏は、九十九歳のご高齢ながら、ご子息ご夫婦とお孫様を伴い来館し、当『松尾大明神』についてご教示くださいました。

当『松尾大明神』は、九瓊氏の夫佐藤久弥氏の祖父で出雲崎町議会議員であった佐藤久三郎氏（出雲崎町井鼻）の所蔵であった。久三郎氏は、耐雪翁と特に仲が良く、何かと行動を共にしたそうである。その一つに、良寛生家橘屋跡地の良寛堂の建立がある。両名は、良寛堂建立の発起人となり、労苦を共にしている。

九瓊氏は「二人があんなに仲が良かったのも、お互い良寛に私淑していたからだろう」と言われる。また、久三郎氏が、何時『松尾大明神』を所蔵するに至ったかについては、夫の久弥氏からもお聞きしていない、とのことである。しかし、良寛が『松尾大明神』を書いた場所については、詳しく伝わっている。

良寛は現三条市下田にあった醸造元佐藤家の依頼で当幅を含む二幅の『松尾大明神』を書いた。良寛が佐藤家を訪ねた理由は、分かっていない。しかし、良寛が酒好きであることは有名である。おそらく、佐藤家の主人が良寛を慕って自宅に招き、お酒を振舞ったのだろう。松尾大明神は、武術・農業・長寿・特に酒の神様として名高い神様である。良寛は、醸造元佐藤家の繁栄を願い、お酒の神様である「松尾大明神」を書き、御礼としたのだろう。その二幅の『松尾大明神』については、『良寛墨蹟大鑑』第六巻仏語篇でより詳しく説明されている。

二幅の『松尾大明神』は、「細い筆ながら、大胆に穂先が走っている。『神』の字（良寛記念館蔵の方）は、楊凝式（中国五代時代の書家八七三～九五四）に近い書体である。書体が同じことから同時に書かれたもの」とある。両遺墨の違いは、良寛記念館の方の落款が「沙門良寛書」であるのに対し、松尾神社に寄進された方は「釋良寛書」と書かれていることである。さらに、もう一幅は「佐藤家より現福島県西会津町の松尾神社に寄進され社額に映された」とある。そして、現在その社額は、西会津町の文化財に指定されていると、西会津町のホームページで確認することができた。

以上のような歴史のある『松尾大明神』を良寛記念館にご寄贈給わりましたことは、誠に有難いことである。九瓊氏のご寄贈の趣意には「想いにより寄贈する」とある。その想いとは、夫の故久弥氏と九瓊氏の生まれ育った故郷、出雲崎町への想いである。その想いで伝えられた良寛遺墨『松尾大明神』は、現在、出雲崎町の指定文化財に申請中である。

良寛記念館長

石坂 優（いしさか ゆう） 隊員

◎本を使って町と人を繋げることに全力で挑み続けた４年半

先月の12日に、拠点『蔵と書』は4周年当日で幕を下ろしました。ラスト1週間はほぼ毎日扉を開けていたのですが、この足元の悪い時期に!?とわたし自身もびっくりするくらいたくさんの方々が連日県内さまざまな場所から出雲崎へ駆けつけてくださいました。活動の締めくくりにわたしの協力隊としてのミッションである「関係人口の増加」の集大成を自分の目で見て確認できた気がして、怒涛の日々でしたが報われる思いでした。足を運んでくださった方も、活動を見守り続けてくれた方も、ほんとうにありがとうございました。

いつから始めたのかもはや定かではありませんが、おそらく4年近く、コラムの下部のコーナーを使ってみなさまへの本のご紹介もしてきました。広報で読書の秋の特集ページを任せていただき見開きで本の紹介をさせていただいた年もありました。図書館やきらりでコーナーをつくったりもしてきました。一人でも本に触れる方が増えていたらとても嬉しく思います。そしてこのように、ミッション以外のことでもほんの少しでもキッカケや影響を与えられていたとしたらそれがわたしがこの町で挑戦し続けた証であり、同時にみなさまへの恩返しになっていたらいいなと思っています。

自分の人生を突き進んでいきたい人におすすめな本

「きみの行く道」 ドクター・スース　河出書房新社

※大人にも子どもにもおすすめな絵本です。*海岸図書館で読めます

◎ 紙風船とクリスマスの撮影会

12月12日（木）～17日（火）に道の駅天領の里にて、紙風船で作ったクリスマスツリーによるフォトブースを設置し、撮影会を開催しました。14日（土）にはプロカメラマンの方にお願いし、ワンコイン撮影会も行われました。

北谷 美穂（きたたに みほ） 隊員

Instagram

@MIHOK_IZM

Instagram（子どもと出雲崎）

@KODOMO_IZUMOZAKI

地域おこし協力隊として初めて行った企画イベント。「紙風船の可能性を知ってもらう」「出雲崎の周遊観光の促進」を目的としていました。

町内外からお越しいただき、「どこでご飯食べていく?」「ここ寄ってみようか」という会話の他、様々な紙風船を見て「かわいい」「紙風船が出雲崎の特産品だと知らなかった」という声が聞かれ、イベントの目的が達成できたのではないかと思います。

期間中にチェキにて撮影させていただいた写真は、多世代交流館きらりに掲示しております。

開催にあたりご協力いただきました皆さま、お越しいただきました皆さま、ありがとうございました。

ふるさと納税レポート

ふるさと納税のピークを終えて

昨年はおかげさまで過去に例を見ないほど多くの寄附をいただきました。

正式な集計は4月～3月の年度単位となりますが、この場をお借りして令和6年4月～12月末日までの寄附件数と寄附額をご報告させていただきます。

【寄附件数】2,027件　　【寄附額】6,059万7,000円

（令和6年12月31日時点）

全体的にお米を多くお選びいただきましたが、今年新たに返礼品に追加した「船団パレード乗船券」「冷凍いちご」「黒にんにく」「手づくりしめ縄」「シャインマスカット（先行予約）」「白雪こう」などを選ばれる方もたくさんおりました。

さらに、これまでも返礼品として掲載されていた商品も全体的に注文が増え、多くの方に出雲崎の逸品をお届けできたことをうれしく思います。

6月から始めた寄附者への手書きメッセージでは、プロジェクトチームメンバーと分担して、返礼品のおすすめポイントや、現在の出雲崎の様子（気候やイベントなど）をお伝えし、中にはご丁寧にお返事のコメントを送ってくださる方もおりました。一度寄附をして終わりではなく、今後につながる小さなきっかけ作りとなったのではないかと思います。

ふるさと納税での寄附額増加は決してゴールではありません。

目指すのは『100年後も元気に続いているまち』実現のために、『出雲崎町に誇りを持ち、挑戦できる環境をみんなでつくる』こと。そこで、下記のとおり第2回事業者説明会・相談会を開催します！

件数が増えたことで生じた事業者の皆さまの問題や苦労を共有し、より取り組みやすい方法を考えていければと思います。また、新たに返礼品追加に興味がある事業者の方向けの相談会も併せて開催いたします。途中参加・途中抜けも可能ですので、ぜひご参加ください！お待ちしております。

日時：令和7年1月29日（水）15時～16時30分
場所：中央公民館　講堂
内容：①令和6年4月～12月の寄附状況報告
　　②発注・連絡体制についての意見交換・提案
　　③今後の取り組みについて
　　④出雲崎の魅力再認識ワークショップ
　　⑤新規返礼品追加希望事業者向け案内

地域おこし協力隊　北谷

▼グループワークでは、意見を出し合い、理解を深めていました。

異なる世代の観点から学ぶ
ブランチキャンパス

12月20日㈮に出雲崎高校で、ブランチキャンパスが行われました。今回は、中学生・高校生・大学生が参加し、グループワークがメインの講義が行われました。講義の中で新潟大学の村山教授は、「夢を実現するためには言葉にすること。そしてすぐ行動に移すこと」と学生に伝えていました。

▼目録を受け取る町長と柏崎信用金庫の小出理事長

誰もがくつろげるために
柏崎信用金庫　屋外用ベンチ贈呈式

12月20日㈮に多世代交流館きらりで、「屋外用ベンチ」の贈呈式が行われました。このベンチは、地域貢献活動の一環として、柏崎信用金庫より寄附を受けたものとなります。多世代交流館きらりに設置し、有効活用させていただきます。

▼年中児は、身近なもので楽器を作成し、さまざまな音を奏でました

自分たちの思いを表現
出雲崎こども園　発表会

12月7日㈯に中央公民館で、出雲崎こども園の発表会が行われました。劇中のセリフや使用する道具の選択・作成など、園児が日頃の遊びや生活を通し、育んできた側面が物語の中に盛り込まれていました。園児たちは、表現する喜びを感じながら、嬉しそうに発表していました。一生懸命演じる姿、歌う姿に会場は魅了されました。

▼長年、出雲崎町長として、町民のためにご尽力いただきました

町への功績を讃えて
小林則幸さん　旭日小綬章受章

前出雲崎町長の小林則幸さんが、秋の叙勲で内閣府より旭日小綬（きょくじつしょうじゅ）章を受章しました。昭和63年から令和6年の36年間、出雲崎町長として、町の発展に貢献されました。
小林さんは、「町民の皆さんのおかげで受章することができた。感謝したい。」と話していました。

▼除雪機は、冬期間の地域の除雪に使用されます

地域社会の発展に寄与
宝くじ社会貢献広報事業（乙茂地区）

（一財）自治総合センターは宝くじの社会貢献広報事業として、地域社会の健全な発展を目的としたさまざまなコミュニティ活動を助成しています。今年度は乙茂地区が助成を受け、コミュニティ活動備品（除雪機、のぼり旗用ポール、のぼり旗、いす）を整備しました。

▼人形劇団あっけらかんの「にんじゃ ニャン丸」を見る親子

心あったかクリスマス♪
きらり　クリスマスパーティ

12月21日㈯に多世代交流館きらりで、クリスマスパーティが行われました。夢ふーせんによるクリスマス飾りの制作や毎年大人気の人形劇が行われ、会場は大いに盛り上がりました。最後にサンタクロースが登場し、プレゼントが渡され、大人も子どももほっこり笑顔があふれるパーティとなりました。

▼各金融機関の前で、事故防止を呼びかけました

脂肪ゼロで死亡ゼロへ
年金支給日に合わせた交通安全啓発

12月13日㈮に交通死亡事故ゼロを目的に、「死亡ゼロ」という語呂に合わせてドリンクヨーグルト脂肪0を配布する交通安全啓発が町内の金融機関で行われました。この活動は、冬の交通事故防止運動期間中の年金支給日に合わせて行われたもので、町民一人一人に啓発物品を手渡し、交通死亡事故ゼロを呼びかけました。

▼児童が育てた花を民生児童委員が受け取る様子

優しい心をつなげていこう
ありがとうの花集会

12月12日㈭に出雲崎小学校で、ありがとうの花集会が行われました。パンジーの鉢植えすべてに全校児童のメッセージや絵が描かれています。5年生が授業で育てた米『ながれ星』、1年生が育てたアサガオの種とともに、民生児童委員の手に託されました。これらは、民生児童委員を通じ、一人暮らしの高齢者のもとに贈られました。

保健師、管理栄養士の健幸だより

（やかに　せに）

けんこう広場

冬の健康大丈夫ですか

本格的な冬を迎え、体を動かさなくなったと感じている方や、年末年始で少し食べ過ぎて生活習慣を元に戻さなければ・・・と、思われている方もいるのではないでしょうか。

そんな今だからこそ、生活を見直すいいチャンス！！できることから始めてみませんか？

◆＋10　プラス・テン

今より10分多くからだを動かすだけで、健康寿命をのばせます！！

（運動の目標は１日合計60分、高齢の方は１日合計40分）

毎日何もせず家で過ごすだけになっていると、生活にメリハリがなくなってしまいます。

寒い冬でも、1日の中で身体を動かす時間を作りましょう。

◆規則正しい生活を送りましょう

生活が乱れていませんか？

毎日の生活リズムを崩さずに過ごすことで、よい睡眠習慣にもつながります。

朝：毎日同じ時間に起きて、朝食を食べる

昼：運動など、できるだけ活動する

夕：就寝前は、テレビやゲームを控え、体を休める準備をする

⇒毎日の生活リズムを決め、１日を元気に過ごせるようにしましょう！！

※年に1回は必ず健（検）診を受けましょう

年1回の健（検）診を受けていますか？

毎年２月に、住民健（検）診の希望調査を行っています。自分の健康状態を知り、病気につながるリスクを見つけるチャンスです。ぜひ健（検）診を受けましょう。

健康診査：65歳以上無料

がん検診：70歳以上無料

※健康や食事のことなど、町の保健師、栄養士にいつでもご相談ください。

お知らせ

●急患診療

●医療電話相談

●もの忘れ、こころの相談会

1/23(木)

もの忘れ、こころの相談会

◇会場　ふれあいの里

◇時間　14：00～16：00

◇担当　田中　弘　医師（三島病院）

◇その他

・秘密は固く守られます。

・完全予約制です。

（相談を希望される方は事前に予約をお願いします。）

【お申込み・お問い合わせ】

・役場保健福祉課　保険健康係（☎0258- 78- 2293）

急患診療のご案内

◇内科・小児科・外科・歯科

【長岡市幸町２－１－１　さいわいプラザ内】

	診療科目	受付時間
休日・夜間急患診療所（☎0258-37-1199）	内　科	月～金曜（祝日除く）18:45～21:30
		日曜・祝日 9:00～11:30 13:00～16:30
	小児科 外　科	日曜・祝日 9:00～11:30 13:00～16:30
休日急患歯科診療所（☎0258-33-9644）	歯　科	日曜・祝日 9:00～11:30 13:00～15:30
中越こども急患センター（☎0258-86-5099）	小児科	月～土曜（祝日除く）18:45～21:30

■産婦人科は在宅当番制（日曜・祝日のみ）となりますので、詳細は休日・夜間急患診療所（☎ 0258-37-1199）までお問い合わせください。

◇二次病院の休日診療　（１月６日～２月９日）

	8:30～翌日8:30	お問い合わせ
１月13日(月) １月19日(日) ２月９日(日)	立川綜合病院	0258-33-3111
１月26日(日)	長岡赤十字病院	0258-28-3600
１月12日(日) ２月２日(日)	長岡中央綜合病院	0258-35-3700

※「二次病院」は一般の医院・診療所では対応できないような比較的症状の重い救急の患者さんが対象です。

夜間に救急車を呼ぶ？ 病院に行く？ 迷ったときは・・・

15歳未満のお子さん

小児救急医療電話相談

#8000

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは 025-288-2525

相談時間　毎日（18時～翌朝８時）

相談内容　お子さんの急な発熱、けがなどに関する相談

【お問い合わせ】

新潟県福祉保健部地域医療政策課

（☎025－256－8924）

大人（概ね15歳以上の方）

救急医療電話相談

#7119

ダイヤル回線・IP電話・PHSからは 025-284-7119

相談時間　毎日（18時～翌朝８時）

相談内容　発熱、頭痛、腹痛、吐き気など急な病気やケガなどに関する相談

経験豊富な看護師などが医療機関の受診の必要性や、対処法などについて助言します。

※この電話相談は、診療行為ではなく、電話での助言により相談者の判断の参考としていただくものです。

消防水利の除雪にご協力ください

町民の皆様には日頃から消火栓や防火水槽などの消防水利を管理いただきありがとうございます。

消防水利は迅速な消火活動のために重要な設備です。しかし降雪により、位置が分かりにくくなる、使用できるようになるまで時間がかかるなど、消火活動に支障が出る場合があります。一刻も早い消火活動のために、自宅周辺の消火栓や防火水槽の除雪にご協力をお願いします。

また、消火活動の妨げになりますので、消防水利付近への駐車はしないでください。

■お問い合わせ
・総務課庶務防災係（☎0258―78―2290）

雪処理事故防止注意喚起

毎年、県内で雪処理中の事故により死傷者が発生していますが、例年より少雪だった令和5年度においても、除雪作業による人的被害は17名にのぼっています。特に雪下ろし等除雪作業、除雪機事故による事故が多発しており、県では安全対策や正しい使用方法についてテレビ、ラジオ等様々な媒体による注意喚起を行っています。「除雪作業は、1人でしない、無理しない、落雪・転落気をつけて」を合言葉に、安全な除雪を心がけましょう。

■主な取り組み
①市町村等へのポスター・リーフレット等の配布
○市町村、社会福祉協議会、医療機関、金融機関、ホームセンター等にて、雪処理事故防止啓発用ポスターやリーフレット等を配布・設置します。
②地域FM局でのCM放送
○特別豪雪地帯市町村を主な対象地域とする地域FM6局において「雪処理事故防止の注意喚起20秒スポット」を制作し、地域の降雪期に合わせて放送します。
③県ホームページへの掲載
○雪処理事故防止や空き家除雪に関する関連記事や合言葉バナーを掲載します。

■お問い合わせ
・新潟県知事政策局地域政策課特定地域振興班（☎025―280―5088）

除雪ボランティア「スコップ」メンバー募集

県内の豪雪地帯で、高齢者世帯などの除雪作業を行うボランティア、「スコップ」のメンバーを募集しています。雪かきの講習会も行うため、初心者の方も安心して参加できます。除雪で地域の力になってみませんか。詳しくは、新潟県ホームページ内「除雪ボランティア」で検索してください。

■活動期間
・例年1月から3月末まで（受け入れ地区と事前調整）

■日程
・1日目午後～2日目午前の1泊2日の除雪活動

■内容
・家屋周りの除雪作業や雪イベントへのボランティア等

■お問い合わせ
・新潟県知事政策局地域政策課特定地域振興班（☎025―280―5088）

法務局からのお知らせ

■相続登記の義務化

令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されました。

土地や建物を相続した後、相続登記をしないと、登記の名義人は亡くなった方のままです。正当な理由がなく申請をしないと、過料が科せられることがありますので、早めに申請をお願いします。

■自筆証書遺言の保管
・あなたの大切な遺言書を法務局（遺言書保管所）でお預かりします。手数料は、3,900円です。法務局で保管することで、紛失や改ざんの心配がなくなります。大切な方に遺産を残したい、空き家・お墓の管理への想いを残したい時など、終活の一環としてご利用を検討してみてはいかがでしょうか。

■お問い合わせ
・新潟地方法務局柏崎支局（☎0257―23―5226）

納税はお忘れなく!

今月の町税等の口座振替予定日は、
1月30日(木)です。
※再振替日は2月10日(月)です。

俳句ポスト（入選句）

井鼻の　白波高し　春を待つ　早川　春男　さん

親つらら　子つらら並ぶ　月明かり　山﨑　百合子　さん

広報いずもざき　広告募集中！

このサイズ（A枠）で通常 10,000円／月

町内事業者なら半額！

町内全世帯に配布される広報いずもざきに広告を載せてみませんか？　まずはご連絡ください。

役場総務課地域政策室（☎78-2290）

アルバイト募集

■仕事内容　ごみ収集ドライバー及び収集作業
・その他分別作業、依頼が入った住宅及び企業の片付け作業
・3勤4休
■勤務時間　8:00～13:00　■時給　1,000円

株式会社 フェニックス
TEL：090-5778-2453

（広告）

空き家・空き地ご相談ください

新潟県知事許可（1）第5709号
㈱中越建設 不動産部
☎ 0258-78-2191

（広告）

お客様の「困った…」を良かった!!に。
灯油配達は新潟サンリンにおまかせ下さい!!
住宅関連 水周り リフォーム工事 快適住まいの何でも屋さん
この看板が目印です!!
新潟サンリン株式会社 ライフエイド出雲崎
ニイガタサンリン 0120-72-2130

（広告）

戸籍の窓

※戸籍の窓への掲載については、届け人の希望により掲載しない場合があります。
令和6年12月1日～12月31日までの届出分・敬称略

丈夫な良い子に

莉央（りお）　6.11.28　渡辺　昂洋（大　門）

追　悼

生田　恒憲	94	11.30	厚　子	（川西1区）
加藤　猛	90	12.4	猛	（特　養）
磯田　アイ	100	12.10	園　子	（岩船町）
大谷　茂	80	12.27	美栄子	（別ケ谷）
小黒　淳子	86	12.30	正　芳	（てまり団地）

人口のうごき

人　口	3,886人	（－ 4）
男	1,881人	（－ 1）
女	2,005人	（－ 3）
世帯数	1,643世帯	（－ 1）

出生	2人	死亡	8人
転入	9人	転出	7人

令和6年12月31日現在住民基本台帳
（　）内は前月比

マイナンバーカードを保険証として利用しましょう

問 町民課 町民係（☎0258-78-2294）

健康保険証の新規発行終了に伴い、マイナ保険証の利用を希望する方はマイナンバーカードの申請が必要です。マイナ保険証では、情報提供に同意することで、初めての医療機関でも薬や特定健診の情報をスムーズに共有でき、より良い医療を受けることができます。マイナンバーカードを作って、マイナ保険証を利用しましょう。

※マイナンバーカードを持っていない方も、資格確認書を提示することでこれまでどおりの医療を受けることができます。

役場窓口で申請する場合

【必要なもの】

・本人確認書類（次のいずれか）
運転免許証、パスポートなど公的機関の発行する顔写真付きの証明書：１点
資格確認書（健康保険証）、介護保険証、医療受給者証、学生証など：２点

・通知カード（または個人番号通知書）

※通知カードを紛失された場合は、追加の本人確認書類が必要です。詳しくは担当係にお問い合わせください。

【交付方法】

・約１か月後、簡易書留等で自宅に郵送、または窓口での交付となります。

【特急発行】

・新生児やマイナンバーカードを紛失した方など、速やかな発行が必要な場合は特急発行を選択でき、１週間程度で自宅に届きます。ただし、紛失などの場合は再発行手数料2,000円がかかります（通常発行は1,000円）。

スマートフォン・郵送で申請する場合

・自宅での申請には交付申請書が必要です。お手元にない場合は、担当係にお問い合わせください。

・約１か月後、交付通知書が自宅に届きましたら、役場窓口までお越しください。

企業版ふるさと納税によりご寄附いただきました

このたび、下記企業より出雲崎町にご寄附をいただきました。
「出雲崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略」事業に活用し、更なる推進を図ってまいります。

会社名	所在地	寄附年月
株式会社パレオサイエンス	東京都港区赤坂３丁目 11 番 14 号 赤坂ベルゴ 511 号室	令和６年 11 月

編集後記

あけましておめでとうございます。今年も広報いずもざきをよろしくお願いします。

地域おこし協力隊活動報告の取材の際に、勉強になる部分がたくさんありました。中でも、２人とも全く異なる分野で町を盛り上げ、目的に向かい、目標を定め、達成していることに感銘を受けました。やり方は十人十色であり、正解は１つではないと学ぶことができました。２人の活動のおかげで、出雲崎を訪れる方、出雲崎のことを知った方が確実に増えたはずです。私も地元というアドバンテージを活かしながら、一人でも多くの方に出雲崎の魅力を知ってもらえるよう、頑張ります。（大矢）

広報いずもざき１月号 / No. 596
とじる・保存する・しあわせ！
令和７年１月９日発行
◆発行・編集
出雲崎町 総務課
〒949-4392 新潟県三島郡出雲崎町大字川西 140
☎（0258）78－3111 FAX 78－4483
https://www.town.izumozaki.niigata.jp